

# 新規上場申請のための有価証券報告書

( I の部) の訂正報告書

株式会社アスタリスク

**【表紙】**

**【提出書類】** 新規上場申請のための有価証券報告書(Iの部)の訂正報告書

**【提出先】** 株式会社東京証券取引所 代表取締役社長 山道 裕己 殿

**【提出日】** 2021年9月9日

**【会社名】** 株式会社アスタリスク

**【英訳名】** Asterisk Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役執行役員社長 鈴木 規之

**【本店の所在の場所】** 大阪市淀川区西中島五丁目6番16号

**【電話番号】** 050-5536-1185 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役執行役員 管理統括室長 石田 泰一

**【最寄りの連絡場所】** 大阪市淀川区西中島五丁目6番16号

**【電話番号】** 050-5838-7864

**【事務連絡者氏名】** 取締役執行役員 管理統括室長 石田 泰一

## 1 【新規上場申請のための有価証券報告書(Iの部)の訂正報告書の提出理由】

2021年8月25日付をもって提出した新規上場申請のための有価証券報告書(Iの部)の記載事項のうち、「第一部 企業情報 第2 事業の状況 1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等 (5) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題」、「第一部 企業情報 第2 事業の状況 3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 (2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容」及び「第一部 企業情報 第3 設備の状況 3 設備の新設、除却等の計画」の記載に一部誤りがありこれを訂正するため、新規上場申請のための有価証券報告書(Iの部)の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

第一部 企業情報 .....	1
第2 事業の状況 .....	1
1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等 .....	1
(5) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題 .....	1
3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 .....	2
(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容 .....	2
第3 設備の状況 .....	3
3 設備の新設、除却等の計画 .....	3

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_罫で示してあります。

## 第一部 【企業情報】

### 第2 【事業の状況】

#### 1 【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

##### (5) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

###### ⑧ 特許戦略の構築

(訂正前)

(省略)

(特許係争に関する注意事項)

株式会社ファーストリテイリング（株式会社ユニクロと株式会社ジーユーを含む。）と係争中の特許（特許第6469758号等）につきましては、一連の特許全てを株式会社NIPに譲渡しております。

当該特許は、複数の商品が入ったカゴをレジの所定の場所に置くと、商品ごとに取り付けられているRFタグを読み取り、商品と購入額を特定し会計を行う、セルフレジの特許になります。

当該特許に関する裁判や特許庁での対応につきましても、すでに株式会社NIPが主体として実施されており、当社は発明者の立場として特許無効化の動きに対しては抗弁するものの、その他につきましては全て株式会社NIPが判断しております。

このため損害賠償やライセンスなどの判断についても、特許権者である株式会社NIPの交渉事項となります。

(当該係争の当社グループに与える影響)

当該裁判の判決結果及び損害賠償やライセンス料における交渉等の進展があった場合でも、株式会社NIPと当社の特許譲渡契約において、当社に責任が及ぶものや当社が受領する対価はなく、今後の当社グループの経営成績への影響はございません。

なお、当該特許の譲渡はいたしましたが、当社は本件特許の実施許諾を株式会社NIPより受けております。今までどおり商品やサービスの提供を継続することが可能ですが、株式会社NIPに対して特許使用料の支払いが必要となります。

(訂正後)

(省略)

(特許係争に関する注意事項)

株式会社ファーストリテイリング（株式会社ユニクロと株式会社ジーユーを含む。）と係争中の特許（特許第6469758号等、以下「当該特許類」）につきましては、一連の特許全てを株式会社NIPに譲渡しております。

当該特許類は、複数の商品が入ったカゴをレジの所定の場所に置くと、商品ごとに取り付けられているRFIDタグを読み取り、商品と購入額を特定し会計を行う、セルフレジで使われている特許になります。

当該特許類に関する裁判や特許庁での対応につきましても、すでに株式会社NIPが主体として実施されております。

(当該係争の当社グループに与える影響)

当社は発明者の立場であり、無効審判等の参加人や差止請求時の請求人として名前は残っておりますが、特許無効化の動きに対して抗弁するためであり、上述のとおり全ての判断は譲渡先である株式会社NIPが行っております。このため、当該特許類に関する裁判の判決結果及び損害賠償やライセンス料における交渉等の進展があった場合でも、株式会社NIPと当社の特許譲渡契約において、当社に責任が及ぶものや当社が受領する対価はなく、今後の当社グループの経営成績への影響はございません。

なお、当該特許類の譲渡と同時に当社は当該特許類の実施許諾を株式会社NIPより受けて今までどおり商品やサービスの提供を継続することが可能ですが、当該特許類を用いた製品・サービスの提供を予算には織り込んではおおりません。したがって、当該特許類の特許存続がどのような結果になっても、予算の達成に与える影響はございません。

### 3 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容

##### ① 重要な会計上の見積もり及び当該見積もりに用いた仮定

(訂正前)

(省略)

なお、当社の財務諸表で採用する重要な会計方針は「第5 経理の状況 2財務諸表等 (1)財務諸表 注記事項 (重要な会計方針)」に記載のとおりです。

(訂正後)

(省略)

なお、当社グループの連結財務諸表で採用する重要な会計方針は「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1)連結財務諸表 注記事項 (連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)」に記載のとおりです。

### 第3 【設備の状況】

#### 3 【設備の新設、除却等の計画】 (2021年7月31日現在)

重要な設備の新設、除却等の計画は次のとおりであります。

##### (1) 重要な設備の新設

(訂正前)

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定年月		完成後の 増加能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
当社	大阪本社 (大阪市淀川区)	AsReader事業	新型 AsReader とケースの金 型	25,000	-	自己資金	2020年9月	2021年8月	(注)2
当社	大阪本社 (大阪市淀川区)	AsReader事業	物流システム RFID化(社内使 用)	5,000	-	自己資金	2020年9月	2021年8月	(注)2
当社	研究所 (大阪市淀川区)	全社共通	生産管理・研 究開発施設 (土地及び建 物)	830,000	292,589	自己資金 増資資金	2022年1月	2022年12月	(注)2
当社	研究所 (大阪市淀川区)	AsReader事業	研究開発・評 価設備	20,000	-	増資資金	2022年12月	2023年8月	(注)2

(以下省略)

(訂正後)

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定年月		完成後の 増加能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
当社	大阪本社 (大阪市淀川区)	AsReader事業	新型 AsReader とケースの金 型	25,000	-	自己資金	2020年9月	2021年8月	(注)2
当社	大阪本社 (大阪市淀川区)	AsReader事業	物流システム RFID化(社内使 用)	5,000	-	自己資金	2020年9月	2021年8月	(注)2
当社	研究所 (大阪市淀川区)	全社共通	生産管理・研 究開発施設 (土地及び建 物)	830,000	292,589	借入金 増資資金	2021年7月	2022年12月	(注)2
当社	研究所 (大阪市淀川区)	AsReader事業	研究開発・評 価設備	20,000	-	増資資金	2022年12月	2023年8月	(注)2

(以下省略)